

新潟県理学療法士(協)会
代議員立候補者

定 数 : 6 名

立候補者数 : 7 名



氏名 深川 新市

都道府県士会 新潟県

年齢 70

勤務先名称 総合リハビリテーションセンター
みどり病院

協会・士会役員歴

| | |
|-----------------|-------------------------|
| 昭和60年4月～平成7年3月 | 新潟県理学療法士会理事 |
| 平成7年4月～平成11年3月 | (社)新潟県理学療法士会副会長 |
| 平成27年4月～平成30年3月 | (公社)新潟県理学療法士会副会長 |
| 平成11年4月～平成27年3月 | (公社)新潟県理学療法士会会長 |
| 平成7年4月～平成30年3月 | (公社)日本理学療法士協会代議員 |
| 平成11年4月～平成27年3月 | (公社)日本理学療法士協会ブロック協議会委員 |
| 平成24年4月～平成27年3月 | (公社)日本理学療法士協会政策企画業務執行委員 |

立候補の趣旨

我が国の少子化による人口減少が進み、高齢者割合のみ増加をたどる2030年に向けて、国民が望む「地域包括ケアシステム」の確立を急がなければなりません。毎年1万人の理学療法士が増加してゆくこの業界にあって、この人たちの将来も考えながら、「地域包括ケアシステム」の中に活躍の場を築き上げてゆかなければなりません。私は、理学療法士協会の活動を支えながら、強化し、引き続き理学療法士の啓発と普及活動を行い、「地域包括ケアシステム」の推進と理学療法士の社会的地位向上に取り組んでまいります。



氏名 佐藤 成登志

都道府県士会 新潟県

年齢 53

勤務先名称 新潟医療福祉大学

協会・士会役員歴

<協会役員>

- ・代議員(2008～2017年度現在まで)

<士会役員>

- ・理事(学術誌部長)(2003～2006年度)
- ・理事(事務局長)(2007～2014年度)
- ・理事(会長)(2015～2017年度現在まで)

立候補の趣旨

PT協会では、2009年度から9年間に渡り代議員として士会とのパイプ役を継続的に行ってまいりました。県士会では、2003年度から理事として学術誌部長、事務局長を経て、2015年度から会長として現在に至っています。会員から預かっている会費が、国民と会員のために有効かつ有意義に活用・運用されているかを常に確認していきたいと思っています。特にPT協会が掲げる30年度重点課題(①理学療法士の質の向上、②理学療法士の職域維持拡大、③国際活動の強化、④組織力の強化)に関しては、進捗状況や達成状況を確認し、必要に応じて意見を述べていきたいと思っています。新潟県士会が掲げる重点課題(①上越・中越・下越ブロック別活動の構築と実施、②地域包括ケアシステムに向けたシステム作りの促進、③会員のニーズに沿った士会事業の促進、④災害対策システムの構築)を促進し達成できるようにPT協会との連携をさらに強靱にしていきたいと思っています。以上、理学療法(士)がさらなる次のステージに進めるように尽力していきたいと思ます。どうぞ、宜しく願い申し上げます。



氏名 柳 保

都道府県士会 新潟県

年齢 52

勤務先名称 柏崎総合医療センター



氏名 郷 貴大

都道府県士会 新潟県

年齢 47

勤務先名称 看護リハビリ新潟保健医療専門学校

協会・士会役員歴

平成26年～ (公社)新潟県理学療法士会 公益事業部長

協会・士会役員歴

H20 県士会理事, 広報部部長
H22 県士会理事, 広報部部長
H24 県士会理事, 事務局次長
H26 県士会理事, 事務局長
H28 代議員, 県士会理事, 事務局長

立候補の趣旨

数年間の公益事業活動や他団体の病院管理研修を通して理学療法士の現状に危機感を抱いております。
若い理学療法士を中心として協会離れが進む中、時代に応じた職域の拡大と、それに応じた理学療法(士)の質の担保は協会としての存在意義であり使命でもあります。
現状では個の力・活動では限界があり、組織としての活動でなければ社会的な評価を得ることはできません。若い理学療法士が志と夢を持って働ける社会となるよう協会活動に尽力する所存です。

立候補の趣旨

新潟県士会の理事を務めさせて頂き10年を迎えようとしています。その間、理学療法士を取り巻く環境は大幅に変わり、県士会だけでは対応しきれないことが増えて参りました。すなわち、県士会の理事としての活動を通して、より(公社)日本理学療法士協会の役割の重要性を痛感している次第です。
現在は、県士会会員のため、また県民の皆様のために新潟県士会の理事として私のできることを精一杯務めさせて頂いていますが、日本の理学療法および理学療法士のお役に立ちたいという思いのもと、この度代議員に立候補させて頂きました。



氏名 中山 裕子

都道府県士会 新潟県

年齢 49

勤務先名称 新潟中央病院



氏名 高鳥 真

都道府県士会 新潟県

年齢 49

勤務先名称 晴陵リハビリテーション学院

協会・士会役員歴

平成21年～ 県士会理事（学術局担当）
平成24年～ 協会代議員
平成27年～ 県士会副会長

協会・士会役員歴

平成19年5月 第42回日本理学療法士学会 学術局員
平成21年4月～平成23年3月 新潟県理学療法士会 理事（生涯学習部副部長）
平成23年4月～平成27年3月 新潟県理学療法士会 理事 学会研修会部副部長
平成23年9月 第30回関東甲信越ブロック理学療法士学会 渉外部長
平成27年4月～平成29年3月新潟県理学療法士会 理事 学術局長・学会研修会部長
平成28年4月～日本理学療法士協会 代議員
平成29年4月～現在新潟県理学療法士会 理事 学術局長

立候補の趣旨

私は、平成21年から士会理事として6年間学術局担当させていただき、県士会学会の改革、新人教育プログラムの修了率の向上を行いました。現在は副会長を務めさせていただいております。

士会活動は数年前に比べ、その範囲、規模ともに大幅に拡大しています。今後、新しい生涯学習システムの導入、管理者ネットワークの構築、各地域の実情に応じた地域包括ケアシステムの推進等、さらに積極的に活動することが求められます。さまざまな局面において、協会と士会の連携をより強固なものとしてゆく必要があります。私は、これまでの士会活動の経験を活かし、士会員の皆様と協会のパイプ役となるよう努めさせていただく所存です。どうぞよろしく願いたします。

立候補の趣旨

現在、県士会理事として学術局長を務めさせていただいております。近年、生涯学習システムの変更や地域包括ケアシステムの構築など、学術面を取り巻く環境も大きな変化をみせています。このように多様化する理学療法情勢に対応できる事業展開をはかり、特に平成33年度から導入される新生涯学習システムに対応すべく、県士会員個々の学術向上はもとより、多くの会員の皆様がより円滑に研修・登録・認定理学療法士の取得が行えるように尽力して参ります。

なかでも、登録理学療法士プログラムに関する研修会を企画・運営することは中核事業と捉え、協会からの情報を発信するとともに県士会員皆様の意見を協会へ提案できるように努めていきます。以上を踏まえてこの度、代議員へ立候補いたします。会員の皆様方のご支援を宜しく願申し上げます。



氏名 松林 義人

都道府県士会 新潟県

年齢 40

勤務先名称 新潟リハビリテーション大学医療
学部

協会・士会役員歴

2015年6月～現在 新潟県理学療法士会理事（広報部長）

立候補の趣旨

理学療法士の平均年齢が30歳代前半である私たちの領域において、若い立場でさらには地方から私たちに「今できること」を追求し、今後の理学療法士を社会的にさらに確立させていかなければいけない使命を感じています。まだ若輩者ではありますが、会員の皆様のご意見をもとに私にできることを考え、新潟県の代表として責任をもって職務を遂行していきたいと考えています。